製品安全データシート

1．製品等及び会社情報

1．1 製品の特定

製品名：　ズームパワー　バッテリー強化剤
主な用途：　自動車用鉛蓄電池用の強化液

1．2 会社情報

会社名：　株式会社ユーエスシー
住所：　〒183-0044　東京都府中市日鋼町１番１　Ｊタワー
担当部門：　技術部
電話番号：　０４２－３５１－００１１　　ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０
作成者：　技術部　　ＵＲＬ：http://www.usccom.co.jp
改定日：　２０１５年3月１２日

2 危険有害性の要約

最も重要な危険有害性及び影響

GHS 分類

・物理化学的危険性：分類基準に該当しない
・健康に対する有害性
急性毒性（経口）：区分外
上記に記載がない危険有害性は、分類対象外または分類できない
・環境に対する有害性
有用な情報がなく分類できない

GHS ラベル表示

・絵表示またはシンボル　：なし
・注意喚起語　：なし
・危険有害性情報　：なし

注意書き

〔安全対策〕
・容器を密閉しておくこと。
・取扱い後は、うがいをして、手、顔などをよく洗うこと。
〔応急処置〕
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
〔経過処置〕
・皮膚の刺激が生じた場合、直ちに医師の診断、手当てを受けること。
〔保管〕
・容器は密閉し、換気の良い冷暗所で保管すること。
〔廃棄〕
・内容物及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3．組成・成分情報

単一製品・混合物の区別：　混合物
含有成分及び含有量

成分名	含有量 wt%	CAS No.	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	毒劇物法
イオン交換水	99.5 以上	7732-18-5	非該当	非該当	非該当	非該当
有機ゲルマニウム	0.5 以下	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当
防腐剤	微量	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

注）化審法No.　化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）官報公示整理番号
安衛法No.　労働安全衛生法（安衛法）第 57 条の 2 第 1 項政令指定物質の政令番号
PRTR 法No.　特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR 法）対象化学物質の政令番号
毒劇法No.　毒物及び劇物取締法の政令番号

4．応急措置

吸入した場合：
・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
・呼吸の弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
・気分が戻らない時は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合：
・製品に触れた部分を多量の水または石鹸で 15 分以上洗浄すること。
・皮膚刺激または手荒れや発疹・水泡などが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けること。

眼に入った場合：
・直ちに清浄で適温の緩やかな流水で 15 分間以上洗眼すること。
・洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。コンタクトレンズを着用している場合は､固着していないかぎり直ちにはずし、洗浄を続ける。
・眼の刺激が続く場合、激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受けること。
・医師の指示なしでは油類又は軟膏を用いてはならない。

飲み込んだ場合：
・無理に吐かせずに速やかに医師の手当てを受けること。
・意識がない場合には、無理に水を飲ませないこと。

※いずれの場合においても直ちに医師の診断を受けること。

5．火災時の措置

特有の消火方法：燃焼性は無い

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
・漏出時の処理を行う際には、必ず保護具を着用する。
・作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入しないようにする。

環境に対する注意事項：
・漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないよう注意する。
・海上の場合、薬剤を用いる場合には国土交通省令で定める技術上の基準に適合したものでなければならない。

回収、中和の方法：
・多量の場合には可能な限りせき止めし、ポンプなどで回収する。
・少量の場合には砂・ウエス等で吸収させ、密封容器に回収する。
・付着物、廃棄物は都道府県条例に基づいて処理する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：
・使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しないこと。
・漏れ、あふれ、飛散しないようにすること。
・取扱い中は、誤飲の恐れがあるので、飲食、喫煙を行ってはならない。
・取扱いの都度、容器を密閉する。
・取扱い後はよく手を洗うこと。

その他取扱い条件：
・換気の良い場所で使用し容器は使用毎に密栓すること。
・取扱い後は、うがい、洗顔を行うこと。
・他薬剤と混合させないこと。

保管

保管条件：
・製品記載の保管条件を読み、適切に保管すること。
・使用の都度、容器を密閉する。
・製品の品質保護のため、0℃以下または 40℃以上になる場所や雨水、直射日光のあたる場所、湿気の多い場所には保管しない。
・容器は、液が漏出しないように密栓すること。

8．ばく露防止及び保護措置

許容濃度：

許容濃度	管理濃度	許容濃度 日本産業衛生学会 2009 年度版	ＡＣＧＩＨ(2010) ＴＷＡ
製剤として	記載なし	データなし	データなし

設備対策：・屋内は全体に換気する。

保護具

手の保護具：・皮膚への接触を避けられる保護手袋を着用する。

眼の保護具：・ゴーグル型もしくは側板付き普通眼鏡型を着用する。

皮膚、身体の保護具：・皮膚への接触を避けられる保護衣を着用する。

適切な衛生対策：・換気の良いところで使用すること。取扱い後はよく手を洗うこと。

9．物理的及び化学的性質

外観	： 無色透明液体
臭い	： なし
pH	： 3.6（20℃）（代表値）
融点・凝固点	： 0℃
沸点・初留点	： 100℃

引火点	：なし
自然発火温度	：データなし
爆発範囲	：データなし
蒸気圧	：データなし
蒸気密度	：データなし
比重（嵩密度）	：1.00（20℃）（代表値）
溶解度	：水に易溶
ｵｸﾀﾉｰﾙ／水分配係数	：データなし
分解温度	：データなし

１０．安定性及び反応性

安定性：	・通常の使用下では安定である。
危険有害可能性：	・なし
避けるべき条件：	・なし
混触危険物質：	・なし
危険有害な分解生成物：	・データなし

１１．有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

＜添加成分として＞

急性毒性（経口）：	・区分外>5,600mg/kg ﾗｯﾄＬＤ50
急性毒性（経皮）：	・分類できないデータ不足
急性毒性（吸入/蒸気）：	・分類できないデータ不足
皮膚腐食性/刺激性：	・分類できないデータ不足
眼に対する重篤な損傷/刺激性：	・分類できないデータ不足
呼吸器感作性/皮膚感作性：	・分類できないデータ不足
変異原性（生殖細胞変異原性）：	・分類できないデータ不足
発がん性：	・分類できないデータ不足
生殖毒性：	・分類できないデータ不足
特定標的臓器/全身毒性 - 単回ばく露：	・分類できないデータ不足
特定標的臓器/全身毒性 - 反復ばく露：	・分類できないデータ不足
吸引性呼吸器有害性：	・分類できないデータ不足

１２．環境影響情報

水生環境有害性（急性）：　・分類できないデータ不足

水生環境有害性（長期間）：　・分類できないデータ不足

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：　・都道府県知事の認可を受けた産業廃棄物処理業者や､収集運搬業者と委託契約して処理すること。
・取扱いについては、「7.取扱い及び保管上の注意」を参照。

汚染容器および包装：　・内容物を完全に除去した後、法規に従い産業廃棄物処理業者等に処分を委託する。

１４．輸送上の注意

国内規制

陸上規制情報：　・労働安全衛生法、消防法等に定められている輸送方法に従う。

海上規制情報：　・船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空規制情報：　・航空法に定められている輸送方法に従う。

特別の安全対策：　・運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実におこなう。
・直射日光を避ける
・横積み厳禁
・水濡れ厳禁
・夏場の輸送時においては、熱い鉄板、地面等の上に直接置かないこと。
・輸送容器は衝撃を与えないように、ていねいに取扱う。
・転倒したり、衝突させたりしない。

国際規制

国連番号：　非該当

国連分類：非該当

容器等級：非該当

１５．適用法令

① 消防法：　・非該当

② 労働安全衛生法：　・非該当

③ 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：　・非該当
④ 毒物及び劇物取締法：　・非該当
⑤ 水質汚濁防止法：　・非該当
⑥ 化審法：　　・規制されない
都道府県又は市町村条例により規制が異なる場合があるので、詳細は当該自治体にご確認ください。

１６．その他の情報

１６.１　引用文献

① 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（ＧＨＳ）改訂４版　国際連合
② JIS Z 7253：2012 「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
③ JIS Z 7251：2010 「GHS に基づく化学物質等の表示」
④ JIS Z 7252：2009 「GHS に基づく化学物質等の分類方法」
⑤ 独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）公開データ
⑥ 日本オートケミカル工業会「製品安全データシート作成指針改訂版」
⑦ 化学工業日報社「15107 の化学商品」(2007)
⑧ 講談社「溶剤ハンドブック」
⑨ 弊社入手の製品安全データシート及び入手資料

１６.２　ＪＩＳの有無

なし

１６.３　記載内容の問い合わせ先

連絡先：　　株式会社ユーエスシー
電話番号：　０４２－３５１－００１１
ＦＡＸ番号：　０４２－３５１－００１０

※注意

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取扱いを確保するための参考情報モデルの一つとして、取り扱う事業者に提供されるものです。
取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱いなどの実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

[会社情報]

販売者：東中国スズキ自動車(株)
所在地：倉敷市沖8-1
TEL:086-424-1211